

## “スタートアップ”部門 まちづくり活動計画書

### 1 助成を受けようとするまちづくり活動について

団 体 名	ナゴヤSUP推進協議会	
まちづくり 活 動 名	川も（川面）探検隊	
活 動 地 域	天白川及び沿岸	
活 動 の 背 景	<p>（団体の立上げのきっかけや活動に至る背景をアピールしてください。）          色々な目的からSUPを入手し、名古屋の水辺を盛り立てようとしているメンバーによってナゴヤSUP推進協議会が2017年3月に発足した。実際にSUPを漕いでみると、歩行や乗船ではたどりつくことのできない場所にアプローチできることに気づいた。</p>	
目 的 ・ 目 標	<p>（活動の目的と、活動により実現したい目標及び成果を具体的かつ簡潔にご記入ください。）</p> <p>■目的 水辺から遠ざかった名古屋の町を、改めて川側からも見つけ、水辺と馴染ませ、盛り上げたい。</p> <p>■目標 一つの流域、今回は天白川を対象として水質、水辺へのアクセシビリティ、余暇活動の可能性などをみんなで実感し、その実感を共有し、川と町がどれだけ馴染みをもつことができるかを明らかにする。</p> <p>■成果 一般参加者の感想なども含め、わかったことを資料にまとめ、公表する。</p>	
活 動 内 容	<p>（上記の目的、目標に沿って、活動内容や実施方法を、具体的かつ簡潔にご記入ください。）</p> <p>まずもって行事を企画立案する。</p> <p>行事を開催し、一般参加者も含め、SUPを使って天白川の水質、水辺へのアクセシビリティ、余暇活動の可能性等を探る。</p> <p>開催後には一般参加者からのヒアリング、まちづくりライブラリー等での資料調査などを交え、川と町がどれだけ馴染みをもつことができるかを考察し、結論を示す資料をまとめる。</p> <p>資料はウェブサイト（現在のところナゴヤSUP推進協議会のフェースブックを予定）で公表する。</p>	
活 動 予 定 期	平成31年 5月 ～ 平成31年11月	
助 成 金 交 付 申 請 額	50,000円	※1回目（上限5万円） ※2回目、3回目（上限10万円）

## 2 まちづくり活動の視点

以下の視点で活動内容についてご記入ください。

<b>審査基準① 必要性</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に根ざしたまちづくり活動内容か</li> <li>・自分たちの住んでいる地域を住みよい環境にする活動か</li> <li>・活動の実施にあたって、まちづくり活動助成金が必要な活動か</li> <li>・活動メンバーのみの趣味や仲間づくりではなく、多くの人に理解や共感が得られる活動か</li> </ul>
	<p>(活動の必要性について、上記観点から分かりやすくご記入下さい。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・名古屋はその形成過程から必然的に水辺に乏しい。その後の河川整備、水質悪化、物流形態の変化などによって水辺に関わる人びとの活動量も低下した。地域の川を見直す活動内容である。</li> <li>・河川などまとまりある空間がもたらすアメニティ、眺望景観を考える時代にマッチした活動と言える。</li> <li>・川に人々が近づける工夫が求められ、その足がかりとなる活動として活動助成金を必要としている。</li> <li>・一般参加を募集することから、天白川の魅力を多くの人に知ってもらう機会となるであろう。</li> </ul>
<b>審査基準② 実現性</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動内容が具体的になっているか</li> <li>・活動内容の資金計画などは妥当か</li> <li>・人員や規模などは妥当か</li> </ul>
	<p>(活動の実現性について、上記観点から分かりやすくご記入下さい。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントを開催し、その結果を資料にまとめる、という単純明快な取組みと言える。</li> <li>・イベント開催が主な活動となっており、高額の支出はない。</li> <li>・およそ行事開催と資料作成に資金が必要であり、使途が明白となっている。</li> </ul>
<b>審査基準③ 発展性</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の活動の発展にむけての視点や計画があるか</li> <li>・活動実施後に、地域のまちづくり活動にどのような波及効果を及ぼせるか</li> </ul>
	<p>(活動の発展性について、上記観点から分かりやすくご記入ください。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他の河川にも適用可能な活動内容と考えられ、展開の余地がある。</li> <li>・市内の川を捉え直し、まちづくりとのつながりを深めるための基礎的な活動といえる。</li> <li>・SUPの試乗を希望する人は多く、初心者への指導も含めることで人気を呈するのではないかと予想する。</li> </ul>

3 活動にあたり他団体（町内会、自治会他）、企業、行政の部署など協力する又は調整を図る必要がある場合には、その名称と内容を記入してください。既に連絡等を取っている場合にはその日付も記入してください。

名 称	内 容
なし	

※第2号様式は3ページ以内でご記入ください。用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

## まちづくり活動の実施スケジュール

・活動の実施日だけでなく、それに向けた準備（団体の打合せ、広報）についても具体的に記入してください。

・1ページにおさまるように記入してください。

年	月	活動項目	活動内容
3 1	4		
	5	企画立案	5/18：打合せ
	6	行事開催（1）	6/15：SUPを利用した全国一斉水質調査参加
	7	行事開催（2）	未定：SUPによる天白川巡り
	8	記録整理	未定：調査の記録，写真などの整理
	9	資料作成	資料の作成
	10	資料作成	資料の作成
	11	資料公開	ウェブサイト公開
	12		
3 2	1		
	2		
	3		

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

## まちづくり活動の予算書

1 支出

計画書の活動における支出（予算）をご記入ください。

	費目 手引きの費目を参照	活動項目	内訳・算出根拠	金額 (円)
<b>まちづくり活動助成金（申請金額）</b>				
※活動経費の内、助成対象となる経費が対象です。				
※上限金額：1回目は5万円、2回目、3回目は10万円				50,000
活動経費の内訳	清掃用品	行事開催	サイドシート日除付タープテント 8,000円×2セット、 手動簡易シャワー 2,500円×2セット、 バケツ、ポリタンク、ホース、タオル、ビニール袋、トンクなど（8名分）	16,000
	救護用品	行事開催	救護バックセット 4,000円×1セット	4,000
	プリンタイ ンク	資料作成	3,000円×4色	12,000
	記憶媒体	資料作成	SDカード, 2,000円×3枚	6,000
	上質紙	資料作成	500円×4袋	2,000
	保険料	調査活動	500円×8人	4,000
	<b>支出合計</b>			

※1ページにおさまるよう記入してください。用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。